



個室ユニット 推進協ニュース Number 137

- 1面 「適正な介護報酬」を強く要望
日医会長 横倉氏が4選
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 新カリキュラムによる講義がスタート
認知症介護実践者研修開催
支部だより【福岡・大阪】
新刊紹介「自分史のすすめ」
入会施設のご案内
- 3面 施設紹介【常照苑くすのき通り】(福岡)
取組紹介【しようじゅ美浜】(千葉)
取組紹介【天空の杜】(福岡)
30年度改定要点ゼミ
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト
ズバリ回答! 人事・労務のお悩み
用語解説、今後の予定

【発行】一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

「適正な介護報酬」を強く要望

「推進協委員の選出」「基準費用額」も 自民党ユニットケア議連と懇談

全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)は、6月15日に東京・赤坂で開かれた自民党個室ユニットケア推進議員連盟(個室ユニットケア議連、石原伸晃会長)の総会・懇談会に臨み、同議連に①「ユニット型個室」と②「ユニット型個室的多床室」の適正な介護報酬化③介護給付費分科会委員及び介護保険部会委員への選出④居住費・食費の基準費用額の見直しの3点を要望した。石原会長は「中には13年前(平成17年10月の臨時報酬改定)から明らかになっていた問題もあり、早急な見直しが必要だ」と述べ、同席した厚生労働省の武井佐代里高齢者支援課長らに早期対応を求めた。



ユニットケア議連の総会・懇談会

「個室的多床室」の問題点を指摘

総会には、個室ユニットケア議連から石原会長、野田毅顧問、赤枝恒雄相談役、木村義雄幹事長、中村裕之事務局長ら21人(代理出席含む)、推進協から赤枝会長、高



赤枝 雄一 会長

赤枝会長は、議連の強い支援によって30年度介護報酬改定で懸案だった「ユニット型標準個室」から「ユニット型個室的多床室」への名称変更が実現したことなどに謝意を述べた。

次いで推進協の新たな要望に言及し、「推進協が推進している『ユニット型個室』と『ユニット型個室的多床室』では住環境やプライバシー保護、入居者の安全確保などで大きな差があり、次の33年度介護報酬改定で実態に見合う適正な報酬化をお願いしたい」「今の介護給付分科会と介



石原 伸晃 議連会長

橋照比古理事、佐々木亀一郎理事、田邊真知子理事、赤枝真紀子事務局長、広嶋稔之、神奈川支部長ら約30人、厚労省から武井高齢者支援課長、鈴木健彦老人保健課長らが出席した。

護保険部会には個室ユニット型施設の意見が反映されず、推進協の委員を選出してほしい」「17年改定以降、居住費と食費の基準費用額が一度も見直されていない。速やかに見直してほしい」と要望した。

八木郁夫推進協事務局次長は「ユニット型個室的多床室」の実態について「天井に隣室との間に隙間があるため照明の光や話し声が漏れる。空調の調整、臭気などの点でもプライバシーが尊重されているとは言いがた、感染症対策にも適さない。火災時には遮断すべき壁がないため炎や煙の侵入を防げず、消防から「スプ」リンクラーが部屋の真ん中に取り付けてなければ、消防効果が落ちる」と聞かされた」と実態や要望内容を詳細に説明した上で、基本報酬が「ユニット型個室」と同じ単位にならざるを得ない現状の報酬体系の矛盾を指摘した。

推進協の要望(骨子)

- ①「ユニット型個室」と「ユニット型個室的多床室」の適正な介護報酬化(住環境面の差に応じた適正な介護報酬化を要望)
- ②介護給付費分科会と介護保険部会委員への選出(特養を論議する上で推進協委員の選出が不可欠)
- ③居住費・食費の基準費用額の見直し(17年10月改定以降見直しされず)

「不作為ではないか」との指摘も

一方、議連から①について「『個室的多床室』は、見てくれは個室でも本当の個室ではなく、安全への配慮からも差を付けている。『ユニット型個室』にインセンティブを付与すべきだ」「住まい」という観点に立てば、同じ報酬というものはおかしい」などと報酬の適正化を求める意見が圧倒的だった。

また②について「五月雨式に決めるのではなく、2年の任期が来た段階でゼロベースから人選すべきだ」「中央社会保険医療協議会」のようにいくつかの分科会を設置し、分科会の意見を上部の部会に上げて審議する2段階の体制が必要ではないか」などと厚労省に人選の見直しを求めた。

③については「13年間も居住費と食費を見直さないのは(行政の)不作為ではないのか」などと見直しを迫った。

これに対し、武井高齢者支援課長は「基本報酬は人員基準を基に決めているが、利用者負担額(第2段階)では『ユニット型個室』(月額5万2千円)と『ユニット型個室的多床室』(同4万2千円)で1万円の差がある」「介護給付費分科会と介護保険部会の委員はサービスや専門性などを基に各1名でお願いしているが、希望が多く、ヒアリングで意見をうかがうようにしている

日医会長 横倉氏が4選



6月23日、日本医師会の役員選挙が行われ、会長選で現職の横倉義武氏(推進協委員、特養「常照苑くすのき通り」)が対立候補を大差で破り、4選を果たした。所信表明で「初診かかりつけ医の機能拡充」などを掲げた。

プロフィール

社会医療法人弘恵会理事長。2017年10月からは世界医師会会長を務める。団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」を控え、かかりつけ医の育成と各地域への定着に力を注いでいる。

ウの目タカ目的

「静かなブーム」

〇：「最近、介護や医療の現場でも自分史づくりが静かなブームになっている。そうだね。いつもは記者会見やブリーフィングで賑やかな東京・霞ヶ関の記者クラブ。束の間の静けさが戻った休憩時間、ベテランの政治記者が口を開いた。

〇：「昔は、政治家や経済人、地方の名士、それに社会福祉法人や医療法人の役員が自分の半生を振り返り、ポケットマネーで自主出版するケースが多かったです。政治家の場合、後援会や有権者に配る『選挙道具』にもなっていたとか。いまでは定年になったサラリーマ

る」「基準費用額は介護事業経営実態調査の結果をみて判断してきた。今後、意見を踏まえて給付費分科会で検討したい」などと答えた。

国政ニュース

「骨太方針」「新成長戦略」

政府は「経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針2018)」と「未来投資戦略2018」(新成長戦略)を閣議決定した。骨太方針は①来年10月の消費税率引き上げに対する対策②基礎的財政収支の黒字転換5年先送り③外国人材の受入れ拡大(新たな在留資格制度の創設)などが柱。未来投資戦略は「工業社会」に続く人類5番目の新社会「Society(ソサエティ)5.0」への取り組み②科学的介護や介護ロボット、AIなどの活用などによる効率的で効果的で質の高い医療・介護の提供などが柱。

7月22日まで会期延長

衆議院本会議は会期を7月22日の32日間まで延長することを決めた。与党は通常国会の会期(6月20日まで)で成立しなかった働き方改革関連法案や統合型リゾート実施法案(カジノ関連法案)、健康増進法改正案(受動喫煙対策法案)、公職選挙法改正案(参院定数6増)TPP関連法案などの成立が争点。主要野党は加計学園問題の責任追及を継続する構え。

ンや主婦が中心で、自分史の書き方をアドバイスする講座が各地で開かれています。出版不況に苦しむ出版業界が後押ししているんですよ」と社会部の若手記者が進んでいます。ある特養では、施設職員が入所者やデイサービスの利用者や家族に働き掛け、戦争体験や遊び、近所や学校での思い出、子育て、健康などをまとめて本にしようと取り組んでいます。認知症ケアにも効果があるとか。それに「庶民目線の歴史書」として学術的にも注目されるようになってきています」と文化部の女性記者がフォローした。(檜)



新カリキュラムによる講義がスタート 平成30年度第1期ユニットリーダー研修開催

推進協は第1期ユニットリーダー研修(座学研修)を、静岡(男女共同参画センターあざれあ)、福岡(リファレンス駅東ビル)、東京(羽田タートル)の3会場で開催した。今期3会場の受講者は、静岡56名、福岡40名、東京74名。

6月13日・14日 静岡

講師は、浦田卓靖氏(静岡県健康福祉部福祉長寿局 介護保険課課長)、黒田秀宗氏(みくらの里・介護主任)、齋藤英輔氏(竜爪園・支援相談員)、井手明利氏(ユニットケア研修事業推進室長)の4名。

6/13.14 静岡会場 (男女共同参画センターあざれあ)

6月21日・22日 福岡

講師は、藤村二朗氏(久住会理事長、天空の杜施設長)、井手氏の2名。

6月28日・29日 東京

講師は、黒田氏、齋藤氏、井手氏の3名。



6/21.22 福岡会場 (リファレンス駅東ビル)



6/28.29 東京会場 (羽田タートル)

新カリキュラムによる研修

今年度からユニットケア研修は「平成29年6月1日付、老高発0601第3号厚生労働省老健局高齢者支援課長通知」に基づき、新カリキュラムによるユニットリーダー研修がスタートした。

◎座学(2日間)の学習内容

- ①ユニットケアの社会的背景と展望
- ②地域社会の変化③社会保障制度と政策④高齢者介護施設に求められる役割⑤介護人材の担う役割
- ⑥ユニットリーダーの役割
- ⑦組織のマネジメント⑧ユニット

リーダーの役割③リーダーシップの基礎とリーダーの機能④キャリアとキャリア形成

【ユニットケアの理念と意義】
・高齢者とその生活の理解②入居者を取り巻く環境・生活の理解③高齢期の理解

【ケアのマネジメント】
①ユニットケアにおける介護過程の展開(ケアにおけるPDCAサイクル)②チームケア、多職種との連携の実践 チームケアの実践③重度化・認知症への対応、看取り介護

【ユニットのマネジメント】
①ユニットのマネジメントの考え方②人的資源に対するマネジメント③物的資源と財務的資源のマネジメント④情報活用に関するマネジメント⑤リスクマネジメント

【統合と実践】
①ケアのマネジメントとユニットのマネジメントの考え方と実践方法の理解②これまでのケアのマネジメント・ユニットのマネジメントの振り返りと今後の取組の方針

◎実地研修(3日間)とプレゼン
座学受講後、実習生は3日間の実地研修施設でのマネジメントの様子を観察しながら、自施設の課題に対する取り組みについて運営計画を立て、プレゼンテーションを行った。プレゼンテーションは複数施設をスカイプで接続し、実地研修施設の管理者や受入担当が立ち合い、総括、講評した。



しょうじゅの里三保と梅香の里の2施設をスカイプ接続し、プレゼンを実施

支部便り

福岡支部

介護リーダー会議を開催

6月8日、福岡支部(牟田和男支部長)は福岡市内の会員施設である「けやき(伊藤純二施設長)」で、介護リーダー会議を開催し、8施設25名が参加した。



福岡支部 グループワーク

「リーダーのスキルアップ」をテーマに、事前のアンケートを基にグループワーク形式で検討し、意見交換した。リーダーのスキルアップ研修が十分に実施できていない施設への助言や、移乗用ロボットやリフトなどの導入状況の紹介などがあつた。受講者から「様々な意見を聞くことができ、とても有意義な会議だった」という声が寄せられた。

【今後の予定】

◎9月14日(金) 17時30分～19時
テーマ「介護ロボット、ICT導入」
会場：まきの木

大阪支部

【報告】大阪北部地震での支援

6月18日、近畿地方での地震発生に伴い、事務局から京都支部と大阪支部の会員施設に被害状況を確認し、支援物資を送りました。

大阪支部のサール・ナート(村島保夫施設長)から「近隣の特養で水道に泥水が混入し、水が使えない状況となっている。備蓄の飲料水も底を尽き、買い出しに行くも全く確保できない状況なので支援したい」と連絡がありました。



支援物資を届ける村島施設長

認知症介護実践研修開催



認知症介護実践者研修

推進協は6月18日～22日の5日間、第1回認知症介護実践研修をしょうじゅの里鶴見(横浜・市鶴見区)で開催し、4名が参加した。

この研修は、高齢者介護の実務経験が2年以上の方を対象とし、認知症介護技術の向上を図り、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的としており、「認知症ケアの基本的視点と理念」「認知症ケアの倫理」「認知症の人の理解と対応」「認知症の人の家族への支援方法」「認知症の人の権利擁護」「認知症の人の生活環境づくり」「地域資源の理解とケアへの活用」「認知症の人と

◆◆◆新刊紹介◆◆◆

「自分史のすすめ」

(平凡社新書、小池新著)



自分史のすすめ 自分史作りの決定版

いまや自分史づくりはカルチャーでは定番講座の1つ。定年退職者や主婦に交じって就活中の大学生がペンを動かしている光景も珍しくない。なぜ、自分史なのか。小池氏は大学講師を務めた経験から「人間が文章(自分史)を書くのは、考えるから、また何かに触れて心を動かすから」で、「過去を振り返るだけの物語ではなく、過去を見つめ、これからどう生きるかを考えること」だといふ。

とはいえ、素人が文章を書くのは簡単ではない。「自分史のすすめ」(全9章)は、準備や文章術、見出しの付け方、文章の決まりごととコツまで、1からアドバースしてくる。例えば、93歳以上には「戦争」、60以上なら「60年安保」や「東京オリンピック」「学生運動」などをテーマポイントにすると書きやすい。

第7章の「介護現場の世界での取り組み」では、介護施設でのケアや看取りに自分史づくりを勧めているが小川利久・エイジング・サポート代表取締役の活動を紹介。小川氏に共感した東京都内の特養とデイサービスでは自分史導入を検討しているという。認知症の予防や治療効果への期待も高まっている。自分史づくりの決定版だ。(稿)

【こいけ・あたらし】ジャーナリスト、元共同通信編集委員(論説委員兼任)、立教大学兼任講師などを歴任。

第2期ユニットリーダー研修

7月2日(月)～8月2日(木) 申込受付!

福岡会場：8月30日(木)～31日(金)
大阪会場：9月3日(月)～4日(火)
東京会場：9月13日(木)～14日(金)

お申込は Web で (suishinkyo.net)

ユニットリーダー研修
受講料 10万→8万円に値下げ!
研修期間 8日→6日に短縮!
座学(2日)・実地研修(3日)
プレゼンテーション(1日)
受講しやすくなりました!

◎入会施設のご紹介◎

◆老健 サザン・ユニットケアセンター
支部名 鹿児島支部
法人名 社会医療法人 聖医会
法人代表者 理事長 牧角寛郎
施設代表者 施設長 牧角丞治
住所 〒898-10011
林崎市緑町236番地
電話 0993(72) 8855

◆特養 津の街
支部名 三重支部
法人名 社会福祉法人 敬峰会
法人代表者 理事長 中川裕
施設代表者 施設長 岩名真臣
住所 〒514-10111
津市一身田平野72616

◆特養 こころの丘
支部名 岐阜支部
法人名 社会福祉法人 恵雄会
法人代表者 理事長 井口智雄
施設代表者 施設長 井口道恵
住所 〒509-17403
恵那市岩村町2453番地123
電話 0573(43) 0556

◎賛助会員入会のご紹介◎

◆社会福祉法人敬峰会
理事長 中川裕
住所 〒514-10032
津市中央4番19号
電話 059(271) 5661

◆株式会社ジェー・シー・アイ
関東営業所
所長 水野昭宏
住所 〒330-0061
さいたま市浦和区常盤9-5-6
電話 048(711) 4856

福岡県

社会福祉法人 光輪会
特別養護老人ホーム

常照苑くすのき通り



～ 祖父の代から築き上げたものを大切に、地元の方と共にありたい ～

【施設の紹介】

平成22年4月、常照苑(個室、多床室)に30床のユニット個室「くすのき通り」を増設いたしました。入居者のほとんどが施設近隣のみやま、大牟田、柳川、八女地区の方で、一人暮らしとなった女性の方が9割近くを占めています。

◎「常照苑」の名の由来

浄土真宗の経典「正信偈」の中の「煩惱障眼雖不見大悲無倦常照我」ということばから「常に照らす」という常照を取り、佛様が悟りを開かれた鹿野苑の苑を取って「常照苑」と名付けました。

【医療機関との連携】

◎ヨコクラ病院

定期健診や緊急時の受入れなどは、地元の方達がかかりつけ医としているヨコクラ病院(社会医療法人弘恵会・横倉義武理事長)と連携しているため、入居者の方にとって入居後も同じ医師に診てもらえるという安心感があり、職員もいざという時の素早い対応を心強く感じています。

◎永江歯科クリニック

3年前に入居者の歯科ニーズに応えたいと考え、地域で長く診療して下さっている先生に相談したところ、快く引き受けていただきました。月に4回、口腔ケアの指導と検診治療にいらして下さり、今では誤嚥性肺炎で入院される方がいなくなりました。

【地域の文化を反映した行事】

施設のある高田町は柳河藩(現在の柳川市)と三池藩(現在の大牟田市)の文化を色濃く残しています。地域の文化を反映した行事などをご紹介します。

◎餅つき

毎年、12月28日になると、駐車場にかまどや臼を用意して餅つきをし、入居者様にお神酒などを召し上がっていただいています。もともと施設のある地域には正月前に一俵

をつくとという風習があり、男性は杵を担ぎ、女性は割烹着を着てお餅を丸めるという役割がありました。昔を懐かしむ入居者の方が多く、車椅子に掛けた入居者様が立ち上がって、お餅つきをするといったこともありました。

◎花まつり



花で飾ったお堂

花まつりとは、お釈迦さまの誕生日(4月8日)を祝うお祭りのことです。花で飾った小さなお堂の中の、右手で天を左手で地を指さした生まれつきの太子様を祀ります。生誕にちなみ、甘茶をかけて祝います。

◎さげもんまつり



お雛様と一緒に飾られたさげもん

柳川藩の風習で、お雛様の時期に布で作った49個の縁起物(海老・年老い、腰が曲がってみなお元氣、ねずみ、子だくさん...)を吊るして飾るお祭りです。施設でも、2月中旬から4月3日までの約1か月、お雛様と一緒にホールいっぱいにくすのきものさげもんを吊り下げて飾ります。

◎夏祭り・大蛇山



ホールに置かれた大蛇山

大蛇を納めることで厄払い

をする「大蛇山」まつり(毎年7月下旬にこの地域で行われる夏祭り)を施設でも行っています。

◎晴れの日の謡(うたい)

毎年10月17日の祭礼では、高田町の宝満神社境内の能舞台で「能楽」が奉納されます。文禄元年(1592年)の「朝鮮の役」の際、当時の柳川藩主立花宗茂公祈願成就のため、奉納したのが始まりと言われています。そういう歴史を持つ地元の方には能の謡が浸透しているので、お正月や晴れの日に職員が歌い、入居者様も口ずさんでいます。

【眠りスキャンを導入】

現在、5台の眠りスキャンを導入しており、今後も増やす予定です。職員は、眠りスキャンのモニターングや記録のためのタブレットを首から下げて使用しています。首から下げるケースで手ごろなものが見つからず困っていたところ、ボランティアさんから革細工のケースをプレゼントしていただき、重宝しています。

【横倉義英施設長から】



横倉施設長

地域共生社会の構築にしっかりと取り組み、地域の困りごとにもっと貢献していきたいと考えています。もっと地域に出かけていくことが必要だと思いますので、そのためには人も増やしていく必要があります。

現在、みやま市が地域包括支援センターを直営していますが、他の事業所との垣根を低くして、地域全体で地域を支援する高田モデルのようなものを構築していきたいと思っています。

〒839-0225 福岡県みやま市高田町上楠田1237

ユニット型 30床 3ユニット

【連載】第4回

30年度改定

要点ゼミ



基本報酬について

基本報酬は、指定基準のうち、その基礎的要件(人員、設備、運営)を満たすことを前提に設定されています。介護報酬改定においては、介護給付費分科会では介護事業経営実態調査の結果が昨今大きく影響を与えています。一般企業における物やサービスの価格は、市場の中で自由に設定します。より良いサービスや商品は高く売れ、市場に受け入れられなければ売れずに廃業となるでしょう。

基本報酬と加算

介護保険制度は、強制加入の社会保険方式であるために提供されるサービスの質を、一定程度担保する必要があります。質の担保は基本部分と加算部分によって別れていますが、主に基本部分はストラクチャー評価として、職員の体制や報酬に含まれる消耗品や介護用品(車いす、オムツ、リネン等々)などです。

経営努力で報酬下がる要素も

ここで報酬上の評価ですが、創設時から一般的に議論があるのは、介護保険制度においては、提供されるサービスの質を高めようと思えば思えば、コストが掛かるのみならず、介護度が改善すれば基本報酬の一日当たりの単価が下がってしまうなど経営上逆転が起ころうという点です。経営努力をした結果、収支差益が出れば出るほど報酬が下がる要素がある点です。勿論、社会的倫理観や社会的使命がある前提で記載します。

特養で傾斜配分高めた

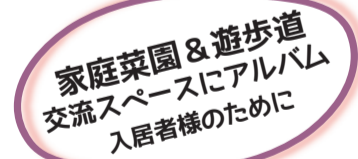
平成30年の介護報酬改定は、特別養護老人ホームにおいては基本報酬部分の評価と合わせて傾斜配分を高めたことが特徴的でありました。今回は、介護報酬改定における「アウトカム評価(成功報酬)」に注目したいと思います。



(介護保険委員長 藤村二朗)

こんにちは。「天空の杜」です。今回は2つの取り組みをご紹介します。

1つめは入居者様に外の空気に触れていただくための取り組みです。ベランダを利用した家庭菜園と車いすでも通れる幅の遊歩道を作りました。家庭菜園は、野菜作りが得意な入居者の方の指南を受けながら、季節の野菜などを育てています。ユニット調理などで一緒に食べると、話も弾み楽しみにしております。



遊歩道は、家族が訪れて共に散歩できるように、草だらけだった裏庭に遊歩道を作りました。道となる部分だけは業者をお願いしましたが、その周囲は職員が担当しました。木を囲んだ円柱形のブロックは近隣のコンクリート試験場からいただいたものでした。家庭菜園では花の苗や野菜を育てています。遊歩道ではスイカを栽培中です。

2つめは、ユニットに訪れたご家族にユニットでの行事や、入居者様の様子を見ていただくため、ユニット間交流スペースにアルバムを置くようにしています。(施設長:藤村 二朗)



ベランダを活用した家庭菜園



裏庭に作った遊歩道



遊歩道の周囲ではスイカを栽培



木の周囲には円柱ブロックを活用

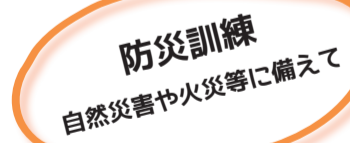


ユニット間の交流スペースに置かれたアルバム

社会福祉法人 兼愛会
しょうじゅ美浜(千葉市)
施設長:北原 由美

千葉市美浜区にある特別養護老人ホームしょうじゅ美浜は平成25年に開設しました。4000戸から成るUR千葉幸町団地の中心部に立地しています。地域にとってしょうじゅが福祉の拠点となるよう、様々な事業所が同一敷地内に入っています。

いつ起こるか分からないのが自然災害や火災等の発生です。有事の際は地域との連携が大切になってきます。そこで今回の防災訓練は千葉市防災普及公社、地元消防に参加して頂き、しょうじゅのスタッフと地域住民の方が合同で訓練や様々な体験を行いました。千葉市に1台のみの「起震車体験」、テントの中で煙を発生させてテント内を歩く「煙体験」、消防隊の指導を受けながら体験する「消火器の取り扱い」を受けながら地域の方々とも感想を話すことができました。



震度7想定揺れはとて激しく、スタッフでも必死で耐える状況です。このような機会に防災について考え、多くの命を守るための想像力をつけることが重要だと思えます。

(施設長:北原 由美)



煙体験ハウス



起震車体験



消火器の取り扱い

介護ニュース・ダイジェスト

6月1日～6月30日

介護に関する政府機関や民間団体の動きを掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPをご覧ください。

(注) 青字は推進協の関連ニュース。

■出生数94・6万人 過去最低

(6月1日) 人口動態統計

厚労省が公表した29年人口動態統計によると、出生数は94万6060人(前年比3万918人減)で過去最低。合計特殊出生率は1・43(同0・01ポイント低下)。一方、死者数は13万4433人(同3万2685人増)で過去最多。人口の自然減39万4373人。

■小型特養の報酬見直しを

(6月1日) 老協が提案

全国老人福祉施設協議会(全国老協)は、「2019～21年における介護分野等の経済財政運営と改革の基本方針に関する提案」をまとめた。▽被保険者年齢(40歳以上)の引き下げ▽介護予防訪問リハ等の地域支援事業への移行▽介護職員処遇改善加算の対象職種拡大▽小規模(30床以下)特養の報酬・加算見直し▽ケアマネジメンツの利用者負担(一部定額)―などを盛り込んだ。

■「骨太方針」原案を提示

(6月5日) 経済財政諮問会議

(略) 6月15日閣議決定を参照

■第13回社員総会

(6月7日) 6月号既報

推進協の第13回社員総会が開かれ、29年度の事業報告や決算報告など3議案を承認、また30年度の事業計画及び収支予算案を了承した。

【議案】▽第1号議案(29年度事業報告及び決算報告)▽第2号議案(支部長会則変更、秋田支部の新支部長に稲庭千弥子・友遊会理事が就任)▽第3号議案(一般事業の研修に係る謝金等規定、1年間運用し再検討)＝全て承認。

【報告】▽報告事項1(30年度事業計画及び収支予算) 会費などによる経常収益は計7386万円。経常費用は計7257万5千円▽報告事項2(全国研修大会in沖縄2018の進捗状況) 11月22日(木)～23日(金)、南城市のユイーンホテル南城、参加予定500人▽報告事項3(31年度全国研修大会開催地) 31年10月1日(火)～2日(水)、横浜市▽報告事項4(役員賠償責任保険加入状況) 8施設

加入。申し込み継続。【講演と事例発表】介護ロボット経営実践会主宰の関口史郎氏が「成功する介護ロボット導入。活用セミナー」を講演。しよらじゆの里小野(横浜市)の薄井裕二施設長が見守りロボット「眠りスキャン」や介護記録の自動入力などの効果や課題について報告。

加入。申し込み継続。

【講演と事例発表】介護ロボット経営実践会主宰の関口史郎氏が「成功する介護ロボット導入。活用セミナー」を講演。しよらじゆの里小野(横浜市)の薄井裕二施設長が見守りロボット「眠りスキャン」や介護記録の自動入力などの効果や課題について報告。

■現役並み所得者3割負担

(6月8日) リーフレット

厚労省は、8月1日から現役並みの所得がある第1号被保険者の負担が3割となることを記したリーフレットを作成し、自治体などに配布した。(注)▽合計所得額が220万円以上で、「年金収入とその他合計所得金額340万円以上」の単身者または「同463万円以上」の夫婦世帯は3割負担へ。

■データ連結「公益」が前提

(6月14日) DB連携会議

医療と介護のデータベース連結の在り方を検討している厚労省の「医療・介護データを解析基盤に関する有識者会議」は、「公益目的」を前提とし、今夏から利用者のサポートや料金の考え方などの具体的な方法を議論する。

■「骨太方針2018」閣議決定

(6月15日) 新在留資格を創設

政府は経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針2018)を閣議決定した。

【経済再生と財政健全化】①消費税率引き上げの実施(来年10月1日)と景気対策

②基礎的財政収支の黒字達成目標を5年先送り(2025年度に)③社会保障改革を軸に「基盤強化期間」の設定(19～21年度)などが柱。

【新たな外国人材の受入れ】「新たな在留資格」(特定技能として介護、建設、造船、農業、宿泊を検討中)を創設する。

【介護関連(抜粋)】「介護ケアプラン作成」「多床室室料」「軽度者への生活援助サービス」の給付の在り方、「現役並み所得」の判断基準の見直しを検討する。

■介護データ 32年度本格運用

(6月15日) 未来戦略を閣議決定

政府は、「情報社会」に次ぐ人類5番目の社会「Society5.0」を目指す「未来投資戦略2018」を閣議決定した。介護関連では、科学的介護を裏付ける介護データベースの32年度本格運用開始や口

ポット・センサー、AI技術の開発や導入などを盛り込んだ。

■推進協適正な報酬などを要望

(6月15日) 一面参照

推進協は自民党個室ユニットケア推進議員連盟(個室ユニット議連)の総会・朝食懇談会に出席し、議連に対して①「ユニット型個室」と「ユニット型個室的多床室」の住環境の差を踏まえて次期介護報酬改定(33年度改定)で適正な報酬にする②介護給付費分科会と介護保険部会に推進協委員を選出する③平成17年10月の臨時介護報酬改定時点から全く見直されていない「居住費」と「食費」を実情に合わせて速やかに見直すの3点を要望した。

■事後評価が不十分と指摘

(6月19日) 総務省の介護評価

総務省は地方自治体調査(対象、20都道府県と40市町村)に基づく「介護施策に関する行政評価」を公表し、厚労省に対して自治体に適切な実施を促すよう勧告した。「介護保険事業計画の点検や評価が不十分」「介護人材確保の目標値が未設定」「介護休業制度の周知が不十分」「再就職が難しい家族介護者への就業実態が不詳」などが判明。ケアマネの意識調査によると、「不足していると感じる施設サービス」では特養がトップ(42・9%)

■1万円引き上げ案を提出

(6月19日) 野党6党

立憲民主党や国民民主党など野党6党は、新たな助成金制度を創設して介護・障害福祉の介護職員の給与を月額で平均1万円、その以外の職員を6千円、それぞれ引き上げる法案を衆議院に提出した。

■30年版高齢社会白書

(6月19日) 閣議決定

政府は30年版の高齢社会白書を閣議決定した。29年10月1日時点、65歳以上の高齢者人口は過去最多の3515万人(高齢化率27・7%)、高齢者のいる世帯数は2417万世帯(全世帯の48・4%)。将来、介護が必要な状態になった場合の不安についてトップは「家族に負担をかける」の50・6%、8割余が何らかの不安を抱えていた。

■労働法違反 過去最多

(6月20日) 技能実習受入事業所

厚労省の外国人技能実習生受入事業所調査によると、29年内に4226事業所で労基法などの労働法違反が見つかり、過去最多となった。労基署が監督指導した5966事業所の70・8%が違反していた。

違法残業や残業代未払いや労働安全に関する違反が目立った。

■介護職員7割が体験

(6月21日) ハラスメント

UAセンセン日本介護クラフトユニオン(NCCU)のセクハラ・パワハラ実態調査(今年4月～5月)によると、介護職員の74・2%が利用者や家族から被害を受けていた。訪問介護や特養などで働く2411人が回答。29・8%がセクハラ、70・0%が言葉などによるパワハラを体験。上司や同僚に相談したが、半数余が「状況は変わらなかった」と答えた。

■処遇状況調査 10月実施

(6月21日) 分科会専門委

介護給付費分科会の介護事業経営調査委員会は、30年度介護従事者処遇状況等調査(原則3年ごとに実施)の調査案を了承した。近く分科会で正式決定し、今年10月に実施し、次の処遇改善策に反映させる。

■紙オムツで実証実験

(6月22日) 国土交通省

国土交通省は、紙オムツと汚物を分離し、オムツを回収、汚物を下水に流す新技術の実証実験を年内に実施すると発表した。介護者・要介護者の負担軽減が狙い。パナソニックとサンライフが開発したオムツ処理装置を高齢者施設に設置して実験する。

■ケアマネ取消で救済

(6月27日) 取消条件を緩和

厚労省は更新研修を受講しなかったりして登録が取り消される恐れのあるケアマネを救済するため、後日、研修を受講することなどを条件に登録を取り消さないよう都道府県に通知した。第8次地方分権一括法の一環。

【用語解説】

Society(ソサエティ)5.0

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類史上5番目となる新しい社会のこと。AIやロボットが今まで人間が行っていた作業や調整を代行したり支援したりするもので、医療、介護分野では遠隔診療、介護ロボット、見守りサービスなどを駆使する。

ハラスメント

行為者本人の意識の有無に関わらず、相手を不快にさせたり、自身の尊厳を傷つけられたと感じたりさせる発言や行動を指す。女性職員が多く利用者の体に直接触れる機会が多い介護職ではセクハラやパワハラを受けやすい状況にあり、問題となっている。

ズバリ回答!

人事・労務のお悩み

◎契約職員の賃金について



【今月の相談内容】

新たに雇入れたフルタイム契約職員(36歳・介護福祉士・経験年数5年)から、賃金について説明を求められました。フルタイム契約職員の賃金は、実労働分(時給980円)と通勤手当のみです。

一方、同様の経歴等で雇用した正規職員の場合は、基本給17万円の他に、介護福祉手当1万5千円、住宅手当、扶養手当があります。同様の職務ではあるが契約期間が1年と定めていることを理由に、賃金格差が生じることを口頭で説明しました。「働き方改革」では、今後どのようなことに注意すべきでしょうか。

【回答】

「働き方改革」によって、今後は労働契約法20条(均衡待遇規定)に関して大きな影響がでてきます。今回のように職務が同じであれば、今後ならんかの工夫(職務に違いをもうけたり、人事考課制度を活用するなど)が必要となります。雇入れ時に正規職員の全職務のうち、どの職務を担ってもらうのかを書面を交付し説明することで、その格差は「均衡」と裏付けることができます。手当についても、人事異動や転勤がない等の一定の限定条件が存在するならば、住宅手当や扶養手当を支給しない根拠となり得ます。

また、就業規則や人事制度の見直しと整備も必要となるかもしれません。正規職員、パートタイム職員、フルタイム契約職員の職務の具体性は必要と感ずる。ちなみに、ご質問の正規職員の基本給と介護福祉手当の合計は18万5千円です。仮に、これを年間労働時間2080時間で除した場合、約1067円となり、賃金差87円が存在します。さらに、時給980円を月給ベースで計算すると、約16万9866円、月給差約1万5千円となり、介護福祉手当のみ差が生じています。介護福祉手当は、資格を持つことだけで支給するのであれば、契約職員と差が生じています。資格手当そのものの支給根拠についても検討すべき事項かと思えます。

(監事・特定社会保険労務士 栗田淳二)

◆今後の予定◆

ユニットリーダー研修

- ◎第2期福岡会場 8月30日(木)～31日(金)
- ◎第2期大阪会場 9月3日(月)～4日(火)
- ◎第2期東京会場 9月13日(木)～14日(金)

ユニットケア施設管理者研修

- ◎第1回 東京会場 7月30日(木)～8月1日(水)

全国研修大会 in 沖縄2018

- ◆日程：11月22日(木)・23日(金)
- ◆会場：ユイーンホテル南城(沖縄県南城市)



◆大会テーマ◆
"愛むすぶ、しあわせ探し！
～ゆいまーるのこころで結ぶ
ユニットケア～

◆プログラム(予定)

- 【1日目：11月22日(木)】
 - 12時30分～13時20分 開会式
 - 13時30分～14時30分 基調講演(厚生労働省)
 - 演題：ユニットケアの良さとこれからの展望
 - 14時40分～16時10分 特別講演(佐藤信人氏)
 - 演題：マネジメントで結ぶ しあわせ探し
 - 16時30分～18時15分(分科会・事例発表)
 - 18時30分～20時(情報交換会)
 - 第1分科会：地域包括ケアシステム (羽鳥訓秀氏)
 - 第2分科会：人材育成(諸見里安知氏)
 - 第3分科会：環境支援(児玉桂子氏)
 - 第4分科会：認知症ケア(宮里好一氏)
- 【2日目：11月23日(金)】
 - 9時～10時30分 シンポジウム
 - テーマ：ゆいまーるのこころで結ぶユニットケア
 - 座長：尾島朱美氏
 - 10時50分～12時 記念講演(藤田孝典氏)
 - 演題：日本のお年寄りが幸せになる解決策